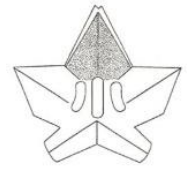


宝達山

宝達志水町立宝達小学校

目指す児童像

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆たくましくやりぬく子



令和5年10月3日(火)
校長 村田 浩彦

☆☆☆今年度の各種学力調査の結果について☆☆☆☆

令和5年度の各種学力調査の結果についてお知らせいたします。

4月に実施された全国学力・学習状況調査(6年)及び石川県基礎学力調査(6・4年)の結果及び分析は以下のとおりです。

6年	全国・国語	全国・算数	石川県・理科	石川県・社会	石川県・英語
県平均と比較					
全国平均と比較			※矢印の意味は以下のとおりです。		
4年	石川県・国語	石川県・算数			
県平均と比較					

分析<本校の課題>※本校児童の弱い部分になります。

国語	○言語についての知識・技能	○条件を使って文章を書く力
算数	○基礎的な算数の知識・技能	○算数用語を使つて的確に説明する力
社会	○資料から必要な情報を選び、それを根拠としての的確に説明する力 ○地図帳を活用する力	
理科	○理科用語を使つて的確に説明する力	
英語	○アルファベットを正しく書く力	
全体	○基礎・基本の定着 ○教科の用語を使つて、条件を基に的確に説明する力	

★簡単な計算や教科の用語を答える問題は、概ね良好であった。しかし、教科の用語を活用して説明する問題に課題が見られる。また、問題の文章量が多いため、時間内に解くことができていない児童も見られた。

分析<今後の取組> ☆当該学年だけでなく、全学年で取り組んでいきます。

①授業の中での取組

○単元デザインを意識した授業づくりの徹底

- ・単元計画を児童と共に作成し、児童の意欲を大切にしながら学習のねらいを達成できるようにする。
- ・単元計画は、クラス掲示を行う。
- ・毎時間や単元末のふり返りを確認し、学習内容が定着しているか見取り次の指導に活かす。
- ・「ふらっと参観」で授業をたがいに見合うことを通して、授業改善に努める。

○児童の説明力の向上を目指した教師の手立て

- ・児童の説明が相手に伝わる言い方になるように、モデルを示したり言い直させたりしながら繰り返し指導する。
- ・書く時間を適宜設け、表現させる機会を確保する。

②授業外の時間での取組

○基礎基本定着・活用力向上のためのドリルタイムの改善

- ・朝ドリル、昼ドリルの時間には、本校の課題になっている単元領域の学力向上プログラムを中心に取り組む。
- ・全クラス2人体制とし、困り感を抱えている児童に寄り添いながら指導する。
- ・時間内に問題を解くことを意識させ、繰り返し指導する。